

金沢区役所

平成29年1月1日
発行 金沢区高齢・障害支援課
電話 788-7868

介護相談員だより



Vol.5

<介護相談員とは...>

特別養護老人ホームや介護老人保健施設、グループホームを訪ね、利用者の話を聞き、相談に応じる一方、サービスの実態を把握し利用者と事業者の橋渡しをしながら、問題改善や介護サービスの質的向上などのために活動しているボランティアで、金沢区では平成17年度から施設派遣を実施。

今年度の10月からは15名で活動しています！

名称 通称	①特別養護老人ホーム 特養（とくよう）	②老人保健施設 老健（ろうけん）	③認知症対応型共同生活介護 グループホーム
利用できる方	原則要介護3～5の方 要介護1・2の方は、特例 入所の制度があります。	要介護1～5の方	要介護1～5の方 （要支援2の方が利用できる グループホームもあります。）
定義	入浴、排せつ、食事の介護 等、日常生活の世話、機能訓 練、健康管理および療養上の 世話を行う施設です。	利用者が自立した日常生活 を営むことができるよう、日 常生活動作のリハビリ等を行 いながら、在宅生活復帰をめ ざす施設です。在宅生活の復 帰を目的としているため、退 所して家庭での生活ができる かを定期的に検討します。	認知症の方が家庭的な雰囲気 の中、5～9人で共同生活を 送りながら、日常生活の介護 を受けます。居室、居間、食 堂、浴室などを備え、利用 者がそれぞれ役割をもって 家事をするなどして、認知 症の症状の進行を緩和し、 安心して日常生活が送れる ようになることを目指しま す。

★★ 裏面には訪問している施設にインタビューした内容が掲載されています！ ★★

私たちが介護相談員です！

氏名	派遣先施設名	氏名	派遣先施設名
岸 紀子	金沢美浜ホーム、金沢けやき園、ほのぼのほーむ	片寄 裕子	あさひな、グリーンペペ、三愛富岡
田附 園子	能見台パトリア、三愛西柴、そよ風	乾 淳子	あさひな、クロスハート金沢・横浜、つくしの家
古野 直美	横浜能見台ホーム、わかたけ富岡	千原 良子	金沢美浜ホーム、能見台パトリア
小竹 肇子	ラスール金沢文庫、ふるさと	大澤 章子	若草ホーム、三愛西柴、そよ風
栗谷 富美子	ラスール金沢文庫、ニチイのほほえみ、ぬくもりの家・金沢文庫	大竹 節子	富岡はまかぜ、クロスハート金沢・横浜、つくしの家
鶴見 恵子	こもれび、ニチイのほほえみ、ぬくもりの家・金沢文庫	五味 八千子	ふるさと、金沢けやき園、ほのぼのほーむ
中村 富美子	横浜能見台ホーム、グリーンペペ、三愛富岡	若山 千恵子	わかたけ富岡、こもれび
平松 節子	若草ホーム、富岡はまかぜ		

- Q1 介護相談員派遣事業について印象をお聞かせください。
- Q2 施設利用者・ご家族は介護相談員を知ってくださっていますか？
- Q3 今後、介護相談員に期待していることや、要望はありますか？
- Q4 最近、介護相談員を受け入れた施設にお伺いします。相談員を受け入れる前と後で違いはありますか？

施設の方に
インタビューしたよ！



特別養護老人ホーム わかたけ富岡 ～職員一丸となって人を幸せにします～

【介護相談員担当 堀口 さんにお話しを伺いました。】

- A1 私たちが把握できなかったご利用者様やご家族様のご意見や、不安に思っていること等を教えて頂き、助かっています。特に環境面においては職員も慣れてきてしまい、なかなか気が付かなかったフロアの寒さや中庭の風景などについて気づきを教えて下さり、すぐに改善することができました。
- A2 施設利用者様は介護相談員さんとしては認識はされていらっしゃると思います。ただ、顔見知りの話し相手として楽しい時間をすごされていていらっしゃいます。今後はご家族様にも認知していただけるように、介護相談員だよりを同封するなど工夫していきたいと思っております。
- A3 今現在のご利用者さま、ご家族様と介護相談員さんの関わりには満足しています。今後は利用者と事業所の橋渡しという意味で、施設側の要望や、職員の意見等も聞いていただけるとありがたいです。



【施設内観】



【施設中庭】

番外コラム～介護相談員向け講演会を実施しました！！～

11月17日に金沢公会堂にて、礪子区・港南区・栄区・金沢区4区の

介護相談員に向けた講演会を実施しました！

この取組は、介護相談員のさらなるスキルアップを目的として

4区が合同で毎年一回研修や講演会を実施しています。

また、今回のテーマは「施設におけるターミナルケア(看取り)について」ということで

各区の相談員が訪問している施設の方にもお声かけをしました。

なお、講師には株式会社ケアクオリティ事業推進部部長の櫻井 知世 氏をお迎えしました。



そもそも看取りとは・・・「病人のそばにいて、いろいろと世話をすること。その人の臨終につきあうこと」となっています。

近年では施設などでの看取りも多くなってきているため、今回の研修では施設に入所する際に施設と看取りについての指針を定めておくことで、その人が望む看取りを行うことができるということを学びました。



参加した介護相談員さんからの感想を紹介します！

- ・不安な気持ちを聞いてあげるのもケアの一つと伺い、心がけようと思った。
- ・口を開けない方にも寄り添うだけで、触れるだけで良いと改めて感じました。
- ・相談員として施設職員の行動と入居者とのふれあいをより深く観察できると思う。
- ・現場の生の様子がよく伝わった。具体的でわかりやすかった。

講演会の様子

